

# ゆうあい

VOL.63

特別養護老人ホーム ゆうあいホーム／大竹市養護老人ホーム ゆうあいの里／ゆうあいホーム短期入所生活介護事業所／  
 デイサービスセンターゆうあいホーム／訪問介護事業所ゆうあい／居宅介護支援事業所ゆうあい／訪問入浴介護事業所ゆう  
 あい／訪問看護事業所ゆうあい／介護タクシーゆうあい／小島新開の家デイサービスセンター／小島新開の家デイサービス事  
 業所／認知症対応型共同生活介護グループホームふきのとう／小規模多機能型居宅介護ふきのとう  
 発行 社会福祉法人 広島友愛福祉会 大竹市玖波4-8-8 TEL 0827-57-7500 発行責任者 立山 道男

## 2010年度事業方針及び事業計画骨子

2000年4月に介護保険制度施行以来、介護報酬については3年ごとに見直しがされ、2003年度、2006年度の2回とも4%のマイナス改定でした。人材確保及び定着のための施策として、2009年度の報酬改定は初めて施設1.3%、在宅1.7%の合わせて3.0%のプラス改定となりました。また、10月より「介護従事者処遇改善交付金」が平成24年までの期限付きではありますが国より示され、これらのプラス分については、本俸、夜勤手当のアップのみならず、一時金として年度末に支給予定です。併せて教育研修の強化、フィリピン人介護福祉士候補者の受け入れ等と組織の活性化を目指してきましたが、さらに2010年度も引き続き新たな加算の検討や介護職員処遇改善交付金等の活用による職員・職場の活性化を目指します。処遇面では「医療と介護の連携」、「多職種協働」ーチームケアの徹底ーに一層の研さんを進めるとともに、提供するサービスの質の向上を実現していく所存です。

以上を確実に実現するために、2010年度に於いても教育研修等により、サービスの質の向上を目指すこととしました。特にキャリアパスの制度を確立していくことを中心に進めていきたいと思えます。

事業経営の効率化では経常収支の全部門にわたって黒字化するための働きを強めていくこととします。

(施設長 立山 道男)

### 1. サービスの質並びに専門性の向上

- ①多職種協働によるチームケアの実施
- ②各職種間の連携を目指したケアプランの見直し
- ③多職種による認知症ケア研究会の実施
- ④専門研修の実施（スーパーバイザー能力の向上）
- ⑤教育研修の実施（参加型の研修、コミュニケーション能力の向上）

### 2. 事業経営の効率化

- ・ 経常収支のプラス化（営業力の強化と事業再編）
- ・ サービス提供量（目標数値）
- ・ 各部門間の協力実施
- ・ 医療（主治医）との連携強化
- ・ ゆうあいホームーチームケアの強化徹底、日常生活加算等新たな加算の取得の検討
- ・ ゆうあいの里ーレクリエーション活動の活性化、外出支援の実施
- ・ 在宅サービスー記録整備、多職種間の協働（チームケアの徹底）
- ・ 各種加算への取組強化と減算チェック

### 3. 財務の効果的・効率的運用

- ・ 原価意識の徹底
- ・ 見積もり合わせの徹底と適正化
- ・ 各種引当金・積立金の実施
  - 1)賞与資金引当金、2)人件費積立金、3)修繕費積立金、4)備品等購入積立金
- ・ 介護職員処遇改善交付金の活用（年度末に一時金として配布）
- ・ 定昇実施（収支状況等に基づき算定する）
- ・ 嘱託職の登用（予算の枠内）

### 4. 労 務

- ・ キャリアパスの確立ー職員研修、賃金、職制・職位の連動
- ・ トータルヘルスプロモーションの推進ー健康診断、ストレスマネジメント、メンタルヘルスの推進等
- ・ 腰痛防止への取り組み強化
- ・ 就業規則の見直し

### 5. 福利厚生

- ・ スポーツ交流大会の検討
- ・ 職員研修旅行（1泊2日）の検討
- ・ 歓送迎会等実施

